

07

2024

Hiroshima Center Rotary Club

Monthly Magazine

vol. 13



2024.7.27 「夜間例会ならびに納涼家族会」
グランドプリンスホテル広島より「広島みなと夢花火大会」を鑑賞

広島中央 ロータリークラブ

活動記録：2024年7月のまとめ

事務局

例会日：毎週月曜 12:30～13:30
例会場：リーガロイヤルホテル広島
広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL：082-221-4894
FAX：082-221-4870
E-mail：hcrc@godorc.gr.jp
URL：https://hcrc.gr.jp/



2024/7/1

第2024回例会

場所

リーガロイヤルホテル広島

本日のプログラム

会長理事役員就任挨拶

卓話者

会長理事役員

担当委員会

プログラム

ゲスト

米山奨学生 李 道宇さん

祝事等

- ・会員誕生日（5名）好永 土谷 田原 宮下 土肥
- ・特別なお祝い（米寿）田原
- ・配偶者誕生日（6名）
高蓋 橋本 加藤 徳見 大田 新宮

会長時間

- 退任記念品贈呈
- ベネファクター表彰（砂田会員）
「新年度を迎えて」

今年度最初の会長時間でございます。今更ではございますが、私の自己紹介、ロータリークラブと私、そして今年度の会長方針について簡潔にお話させていただきます。

私の職業は、広島筆産業株式会社という小さな会社の経営をしております。伝統的工芸品熊野筆の製造販売会社であり、筆づくりは155年間続いており、私は6代目に当たります。前職は全く異なる仕事を行っていましたが、先代の急逝により広島に帰ってきて15年間、自分にとりましては全く異なる分野で、古いことながら自分にとっては新しいことに日々挑戦しております。

広島中央ロータリークラブには2009年6月に入会させていただき、ちょうど入会から15年が経過いたしました。当クラブへの入会の経緯は、父が当クラブのチャーターメンバーで、

その父との関係から田原会員と吉清会員のご推薦を得て入会し、諸先輩方にはご厚誼を賜りありがたく思っております。私は前職時代、父と離れて暮らしておりましたが、生前父は私と会うたびに、「ロータリーの皆様とどこに行った」とか、「ロータリーでどういう奉仕活動をした」とか楽しそうに話しておりました。父や母にとっては「ロータリーによって彼らの人生に彩りをいただいた」と思っており、皆様に感謝しております。

私自身は国際奉仕活動、特に海外の途上国の人たちの教育を充実させることの支援を目的にロータリーに入会しました。今年度、そのような国際奉仕活動が当クラブでできるかどうかはわかりませんが、私の在籍する間に種まきはしたいと思っております。

会員の皆様がロータリーに入られた動機や、ロータリーで行いたいことの優先順位はそれぞれ異なると思います。奉仕活動に積極的に取り組むことにより、会員の皆様、そして相手方の皆様に笑顔を届けることができ、それぞれの人生に彩りを添えることができます。また、親睦活動においても多様性、公平性、居心地の良さを大切にしながら、会員同士で相手の笑顔を求めて活動することにより、お互いの人生を彩ることができると考えております。様々なロータリー活動を通じて多くの笑顔が得られ、皆様の人生に彩りを添えることができるような機会を設けられるようにクラブ運営に努めてまいります。



ベネファクター表彰（砂田会員）

2024/7/8

第2025回例会

場所

リーガロイヤルホテル広島

本日のプログラム

定時総会

議長：城本会長

ゲスト

広島城南ロータリークラブ会長 田中 清峰 様
広島城南ロータリークラブ幹事 藤井 巖 様

祝事等

- ・連続出席表彰（9名）
長場 好永 七枝 戸田 楨殿 猪垣 金光
大本 馬野
- ・結婚記念日（1名）山本

会長時間

「キャリア・スタート・ウィーク」とロータリーの「職業奉仕」について

みなさん、こんにちは。お暑い中、例会への出席ご苦労様です。

本日の例会に、広島城南ロータリークラブから田中会長と藤井幹事、広島東ロータリークラブから山本様、広島西南ロータリークラブから遠崎様、遠方のつくばシティロータリークラブから金山様にお越しいただきました。ようこそ広島中央ロータリークラブにお越しくださいました。例会をお楽しみください。本日は後ほど定時総会が開催されます。真剣にご審議いただきますようお願い申し上げます。

さて、私事で恐縮ですが、本日から我が町では、地元の中学生による「キャリア・スタート・ウィーク」が始まり、当社にも2名の中学2年生の男子が職場体験をするために来ています。これは文部科学省が推奨しておりますプログラムで、子供たちの勤労観、職業観を育てるために、中学校において5日間以上の職場体験を行う学習活動です。我が町では10年以上前からこのプログラムを行っており、町内の各事業所で中学生が一週間職場体験を行います。

「キャリア・スタート・ウィーク」では、子供たちが働くことの喜びや厳しさを学び、学習に対する意欲を向上させるための貴重な体験となります。また、受け入れる側の我が社でも、事前に社員同士が打合せをして、中学生にどんな体験をしていただくか検討しており、社員にとりましても貴重な経験をさせていただいております。

ロータリーの「職業奉仕」では、「ロータリーの目的」の第2項から職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること、が奨励されてい

ます。そして、その実践方法の一つとして、「若者のキャリア目標を支援すること」が奨励されています。

今回の中学生の「キャリア・スタート・ウィーク」が、参加した子供たちのキャリア目標設定の一助になれば幸いです。また、このプログラムが全国の各市町村で普及していくことを、一人のロータリアンとして願っております。



つくばシティロータリークラブとバナー交換



連続出席表彰の会員

定時総会の風景



定時総会（議長：城本会長）



定時総会（平瀬前年度会計委員長）

2024/7/27

第2026回例会

場所

グランドプリンスホテル広島

本日のプログラム

夜間例会ならびに納涼家族会

担当委員会

幹事・親睦

ゲスト

李 道宇さん（米山奨学生）

会長時間

皆さんこんばんは。ようこそ納涼家族例会へお越しくださいました。本日は会員とご家族を合わせて113名のご参加を頂いていると聞いております。お暑い中多くの皆様にご参加頂きましたことに心より御礼申し上げます。

さて、本日は家族例会でございます。私達ロータリークラブ会員が日頃よりロータリー活動を行うことができるのもご家族の皆様のご理解とご協力があることだと思っております。ご家族の皆様にご感謝申し上げますと共に、本日の家族例会へのご参加によりロータリー活動へのご理解がより深まる機会となりますことを心より願っております。

今年度、私のクラブ会長方針は「ロータリーで人生に彩りを!」とさせて頂きました。ロータリーには様々な活動がありますが、やはり家族の皆様と共に楽しく活動する家族例会こそが、会員の皆様とご家族の皆様の「人生の1コマを彩れる」と思います。ご参加頂いた皆様楽しんでいただけるよう、親睦委員会を中心にこの納涼家族会の準備を進めてまいりました。お楽しみください。

本日は、「広島みなと夢花火大会」が5年ぶりに復活し、このホテル内の特等席から鑑賞していただけます。限られた時間ではありますが、どうぞお楽しみください。



宗正理事 乾杯挨拶



アトラクション(バルーンアート:メリーさん)



屋台(射的)



屋台(綿菓子)



城本会長 挨拶



屋台(スーパーボール)

2024.7.27. 納涼家族会の風景



場所

リーガロイヤルホテル広島

本日のプログラム

クラブフォーラム「母子の健康について」

卓話者

小林 正夫 会員

担当委員会

プログラム

ゲスト

国際ロータリー第2710地区グループ7 ガバナー補佐
佐藤 二郎 様(会長)
国際ロータリー第2710地区グループ7 ガバナー補佐幹事
杉本 清英 様
入会予定ゲスト
木内 良明 様

祝事等

- ・入会月（13名）
田原 緒方 出崎 河野 徳見 村本 長場
好永 楨殿 猪垣 金光 大本 馬野
- ・創業月（5名）
下原 出崎 村本 河野 好永

会長時間

「母子の健康月間」

みなさん、こんにちは。お暑い中、例会へのご出席ご苦労様です。パリ・オリンピックも始まり、連日の各国のアスリートの活躍に刺激され、また一喜一憂されて、睡眠不足の方も多いかと思います。酷暑の時期でございますので、くれぐれもお身体にはご自愛ください。

本日の例会には、国際ロータリー第2710地区グループ7ガバナー補佐 佐藤二郎様、ガバナー補佐幹事 杉本清英様、入会予定ゲストの木内良明様にお越しいただきました。ありがとうございます。佐藤様、杉本様には、後ほどのクラブアセンブリーでご指導の程よろしく申し上げます。木内様は例会をお楽しみください。

7月27日(土)に開催されました納涼家族例会では宗正クラブ管理運営委員会理事をはじめ、親睦委員会の皆様のお陰で本当に楽しい会となりました。皆様に心より感謝申し上げます。

さて、国際ロータリー理事会は特別月間を指定しており、7月のテーマは「母子の健康」となっております。後ほどのクラブフォーラムで小林会員から「母子の健康について」の卓話をいただきます。小林会員、よろしく申し上げます。

毎年推定590万人の5歳未満の子供たちが、栄養失調、不十分な医療、不衛生などが原因で、亡くなっています。これらの死はすべて予防が可能なものであるとも言えます。

では、私達ロータリアンは具体的にどのような活動を行うことで予防することができるのでしょうか?他のロータリーの活動を1例 紹介させていただきます。

2020年、大阪西南RACとそのスポンサークラブである大阪西南ロータリークラブが、フィリピン・ルソン島のターラックにトイレを設置するプロジェクトを企画しました。また、現地の女子学生に向けて性教育を実施し、生理用品を購入できずに学校に行けなくなる生徒や、不衛生な生理用品を使用することで病気のリスクを抱えている生徒を少しでも減らすために、月経カップを届ける事業も計画しました。

コロナ禍が落ち着いてきた2023年3月、両クラブは現地を訪れ、日本で制作した英語の動画と資料を使って、女子学生を対象に生理や妊娠の仕組み、生理中の対策、月経カップの使用方法を説明する性教育講座を実施しました。また、月経カップも50個提供されました。まだこの活動による成果は明確には出ておりませんが、フィリピンの女性や子どもたちが快適に過ごせるようになることを願っています。

他にもご紹介したい事例はたくさんございますが、時間の関係で本日は1件のみにさせていただきます。このような事例は、「My Rotary」「ロータリーボイス」「ロータリーの友誌」等にも掲載されておりますので、お時間のある時に是非ご一読ください。

予防可能な原因で母親と子供が命を落とすことなどあってはならないと思います。私達の持っている限られた資源で、具体的に何ができるかを一人一人が真剣に考えて、引き続き支援活動を行っていきましょう。

クラブフォーラム「母子の健康について」



卓話者:小林会員

卓話内容はホームページに掲載しております

